

ドイツ自転車市況－2016

1. 国内生産及び出荷

ドイツ二輪産業協会(ZIV)によると、2016年ドイツ国内の自転車出荷台数は前年比6.9%減の405万台となり、2年続いた増加から一転して減少した。国内の自転車生産台数は、前年比10%減の197万台に落ち込み、200万の大台を割り込んだ。しかしながら、販売金額で見ると、自転車販売部門の市場規模は前年比7%増の26億万ユーロ(3,250億円)となり、3年続けて増加している。また、2016年の全業態の平均販売価格は、前年比15%増の643ユーロ(80,375円)と一気に600ユーロを超えた。生産・出荷の台数が減少しているにも関わらず、販売金額でみた市場規模は大きくなり、平均販売価格も上昇している理由は、単価の高い電動自転車の販売増加が続いているためとみられる。

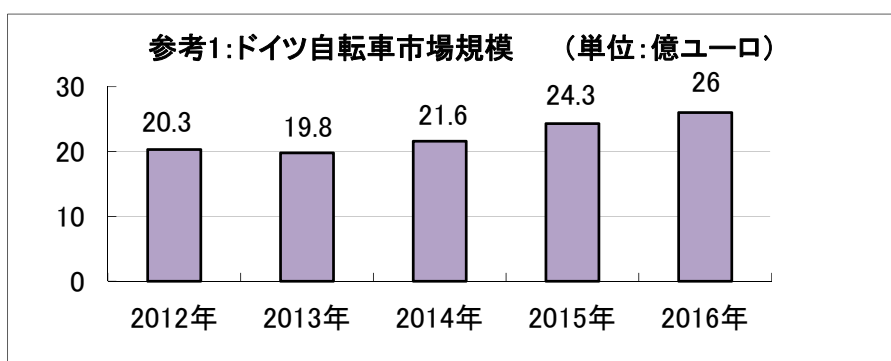
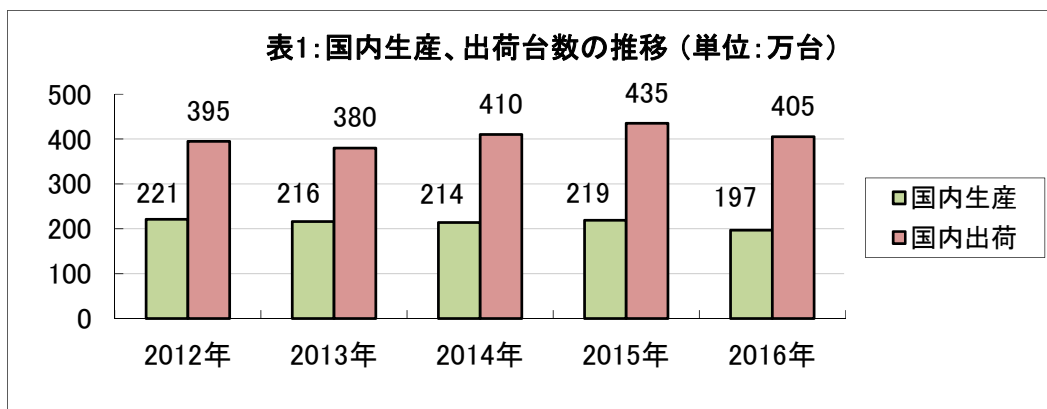


表2: 平均販売価格の推移 (単位:ユーロ)

年	2012	2013	2014	2015	2016
全業態平均販売価格	513	520	528	559	643

2. 輸出入

2016年の輸出台数は前年比0.9%減の115万台となり、前年よりごく僅かではあるが減少した。しかし、2016年の輸出金額は同比5.9%増の12億5,000万ユーロ(1,563億円)となり、3年続けての増加となった。輸出台数が伸び悩む中、輸出金額は増加している理由は、高額

な電動自転車の輸出台数が増えているためとみられる。

なお、輸出の大半は欧州諸国向けであり、輸出比率上位 10 カ国の顔ぶれは前年と同じ国々であったが、順位に若干の変動が見られた。最多輸出先はオランダで前年より 2 ポイント増の 23% を占める。それに次ぐオーストリアは 1 ポイント減の 11% となったが、フランスは 3 ポイント増の 8%、スイスが 2 ポイント増の 6% 等と増加が目立った。

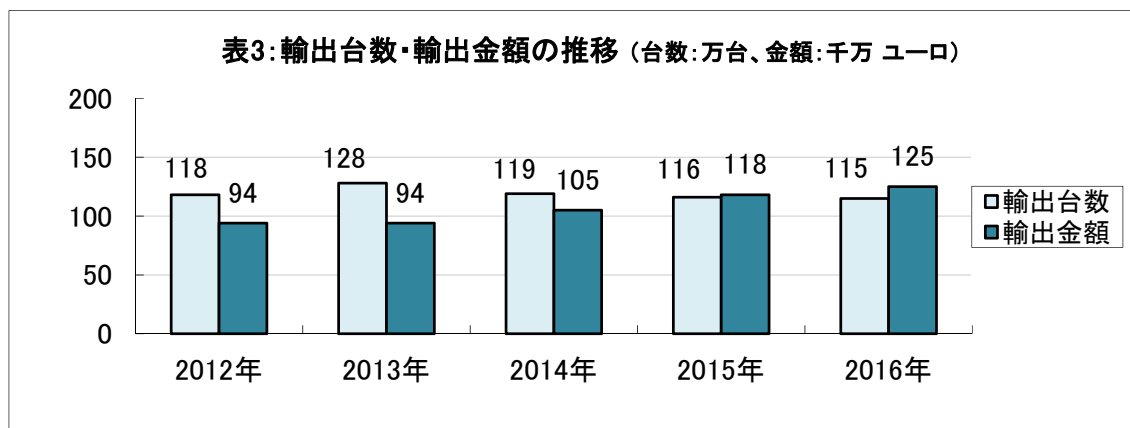


表 4: 輸出比率上位 10 カ国の推移

国名	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年
オランダ	19%	16%	19%	21%	23%
オーストリア	10%	9%	11%	12%	11%
フランス	12%	8%	7%	5%	8%
ポーランド	7%	12%	12%	7%	7%
スイス	4%	4%	4%	4%	6%
スペイン	3%	※	4%	4%	5%
デンマーク	7%	7%	4%	4%	5%
イタリア	3%	3%	4%	4%	4%
英国	2%	2%	3%	3%	4%
ベルギー	6%	7%	5%	4%	3%
その他	27%	32%	27%	32%	24%

※その他に含まれる

2016 年の輸入台数は前年比 3.7% 減の 316 万台となり、大きく増加した 2015 年から一転して減少した。しかしながら、2016 年の輸入金額は同比 2% 増の 25 億 3,000 万ユーロ (3,163 億円) で 3 年続けて増加した。輸入台数の減少にもかかわらず、輸入金額が増加しているのは、輸出の場合と同様、電動自転車の輸入増がその要因の一つと考えられる。

輸入比率上位 10 カ国中、上位 4 カ国は前年と同じ顔ぶれとなった。アジア地域では、最多

輸入先であるカンボジアは前年より2ポイント増の23%となり、同国だけで全輸入の2割超を占める。それに次ぐ台湾は1ポイント増の8%と復調の兆しをみせたが、中国は2ポイント減の3%と再び減少した。2015年上位にくい込んだバングラデシュは、前年同様4%を維持し、2016年はスリランカが3%で上位に現れた。現在、中国製自転車には48.5%のアンチダンピング(AD)税が課せられており、更に中国からの迂回行為が認定された地域にも同税が賦課されている影響もあるためか、アジア地域の輸入先は依然として変化がめまぐるしい。

欧州地域で見ると、ポーランドが前年より2ポイント増の13%と最多であり、ブルガリアは同4ポイント増の13%と増加が目立つ一方で、リトアニアとルーマニアが上位から姿を消し、前年に姿を消したチェコ共和国が3%で再び上位に浮上する等、中東欧地域を中心に欧州でも輸入先に変化がみられる。

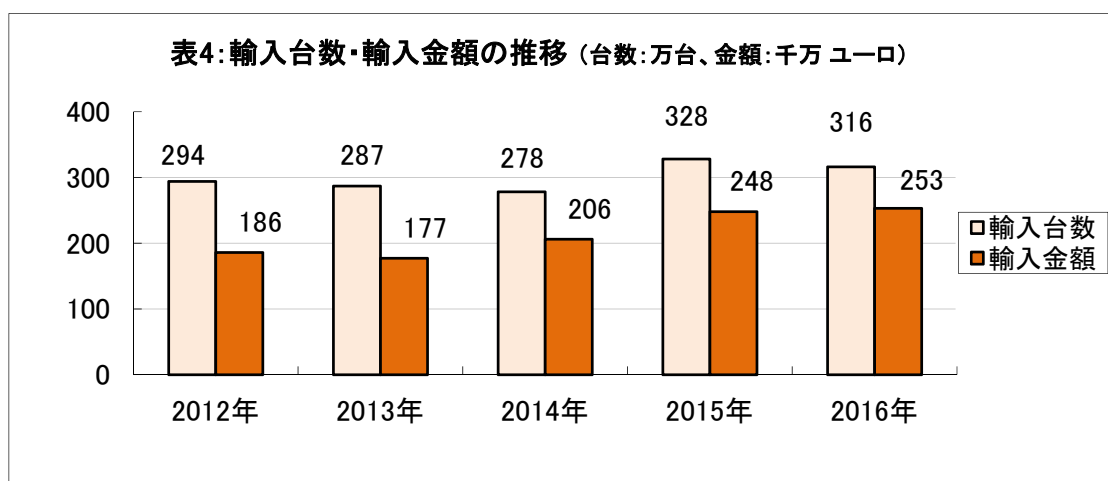


表 6: 輸入比率上位 10 カ国の推移

国名	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
カンボジア	16%	21%	19%	21%	23%
ポーランド	11%	9%	11%	11%	13%
ブルガリア	6%	6%	9%	9%	13%
台湾	10%	9%	9%	7%	8%
オランダ	4%	4%	5%	4%	5%
オーストリア	4%	4%	※	4%	4%
バングラデシュ	※	※	※	4%	4%
チェコ共和国	4%	4%	5%	※	3%
中国	3%	4%	4%	5%	3%
スリランカ	※	※	3%	※	3%
その他	42%	39%	35%	35%	21%

※その他に含まれる

3. 販売業態別シェア

販売業態別シェアについては、自転車小売専門店が前年同様 69%となり、依然 7 割近くの最多シェアを占めている。ドイツの消費者は EPAC 等の付加価値の高い商品を購入する際、専門知識を有する自転車小売専門店での適切なアドバイスを受け、試乗等により十分に吟味してから購入する傾向が強いとみられる。また、デパート、スーパーマーケットやホームセンター等の量販全体のシェアは昨年より 2 ポイント減少して 16%となり、ここ 5 年間、減少傾向が続いている。一方で通販・インターネットは昨年より 2 ポイント増の 15%となり、着実にシェアを増やしているが、近年、自転車、部品・付属品のネット販売が増加しているためとみられる。

表 7: 販売業態別シェアの推移

販売形態	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年
自転車小売専門店	70%	70%	70%	69%	69%
デパート・DIY 店・小型スーパー	21%	20%	19%	18%	16%
通信販売・インターネット	9%	10%	11%	13%	15%

4. 車種別販売シェア

車種別販売シェアについては、トレッキング車が前年より 1 ポイント減の 32%となったが、依然として最多シェアである。MTB にライト、リフレクター及び泥除け等を装着して出荷される ATB、レース用自転車等及び幼児車は前年同様のシェアを維持したが、シティ車と MTB は 1 ポイント減、子供車は 0.5 ポイント減となった。オランダ型及びツーリング車は前年より 0.5 ポイント増となったが、更に EPAC 等の電動自転車は前年より 2.5 ポイント増の 15%となり、他車種に比べても高い伸び率をみせた。

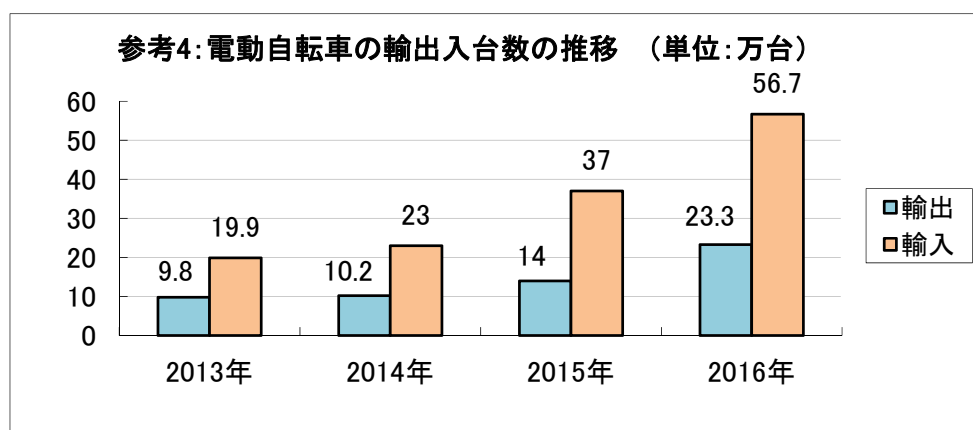
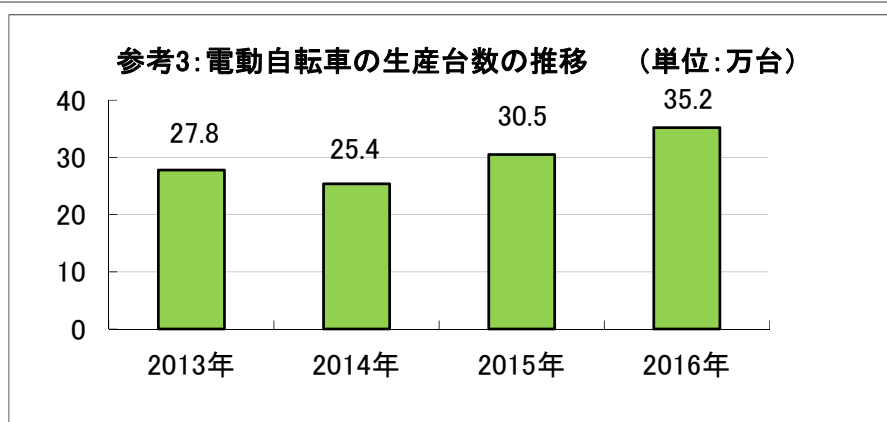
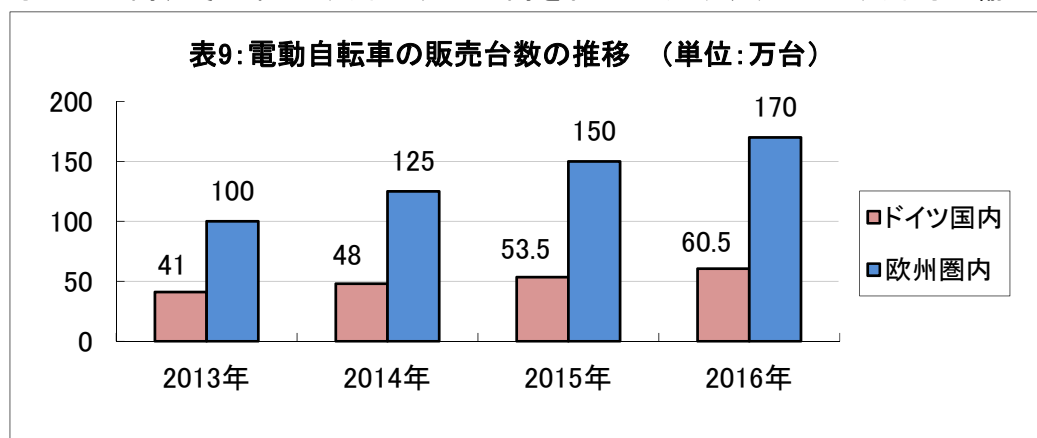
表 8: 車種別販売割合の推移

車種	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年
トレッキング車	33.0%	32.0%	32.5%	33.0%	32.0%
シティ車	24.5%	23.0%	22.0%	21.0%	20.0%
ATB	9.5%	9.0%	8.0%	7.5%	7.5%
MTB	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	9.0%
子供車	4.0%	4.5%	4.5%	4.5%	4.0%
幼児車	2.0%	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%
オランダ型及びツーリング車	2.5%	3.0%	3.0%	3.0%	3.5%
レース用自転車／フィットネスバイク	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%

電動自転車	10.0%	11.0%	12.0%	12.5%	15.0%
その他	0.5%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%

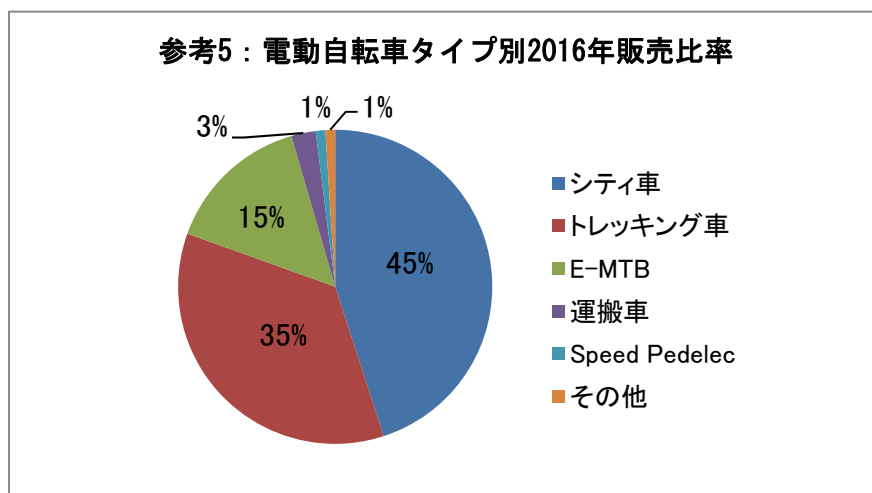
5. 電動自転車 –ブームの広がり

2016年ドイツの電動自転車の販売台数は前年比13.1%増の60.5万台となり、自転車全般の国内出荷台数が減少に転じた中でも、2ケタの増加率を見せた。2016年のドイツ国内の電動自転車の生産台数は前年比15.4%増の35.2万台に増加し、更に同車種の輸出台数は同比66.4%増の23.3万台、輸入台数は53.2%増の56.7万台と輸出入ともに大幅な増加をみせた。輸入先の6割強はEU諸国からであり、残りの3割がアジア地域からとなっている。輸出先はEU諸国向けが8割、その他の欧州地域が1割を占めており、殆どが欧州向け輸出である。



電動自転車の車種 (タイプ) としては、街乗りが主体のシティ・トレッキング車タイプか

ら、最近はサイクリング等のレジャー用途により適した MTB タイプの電動自転車 (E-MTB) を手掛けるブランドが更に増えている。2016 年の電動自転車のタイプ別販売比率では、シティ車タイプが最多の 45% となり、次いでトレッキング車が 35% で、2 タイプで全体の 8 割を占める。最近、人気が高まる E-MTB も 15% と一定の比率を占めており、E-MTB はシティ・トレッキング車タイプの電動車より総じて販売価格が高いため、今後の E-MTB の販売比率の推移も注目される。なお、スイスやオランダで人気が高まっている Speep Pedelec は、僅か 1% にとどまり、ドイツ国内で販売される電動自転車の殆どは電動アシスト自転車 (EPAC) とみられる。



ドイツの電動自転車については、前年に引き続き 2016 年も販売、生産及び輸出入ともに 2 ケタの増加率を見せており、近年の EPAC ブームによる好調が続くと ZIV はみている。更に欧州地域全体の電動自転車の販売台数は、前年比 13.3% 増の 170 万台に達し、前年より 20 万台増えた。先行する独・蘭両市場に続き、仏・伊市場においても同車種の販売台数は 2016 年には 2 ケタの伸び率で増加したといわれ、同ブームが両国でもいよいよ本格化し、更なる欧州地域へのブームの広がりも期待されている。

以 上

統計出所：ドイツ二輪産業協会 (ZIV)